

学習指導だより NO.7

H28. 11. 11

下野市立吉田西小学校

まなび



今年度の研究テーマ（学校課題）

～第4回・第5回研究授業を終えて～

学ぶ楽しさを実感し、自ら学ぶ児童の育成

～言語力を高める指導法の工夫改善を目指して～

10月27日に4年生、11月2日に3年生の研究授業が行われました。

4年生は国語「アップとルーズで伝える」、3年生は国語「すがたをかえる大豆」の授業でした。どちらも説明文の読み取りです。中学年の説明文では、次のことを学習します。

- ・内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読する。
- ・中心となる言葉や文を見つけ、段落の構成を考える。
- ・文章の要点や細かい点に注意しながら読んだり、

文章を要約したりする。



言語力を高めるための手だてとして

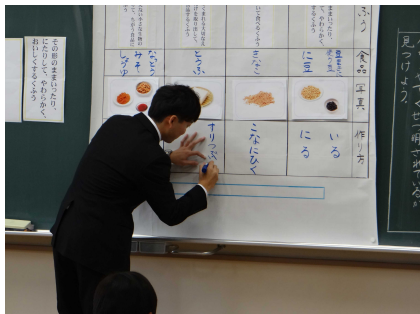
①学ぶ楽しさや興味・関心を高める

目的意識を持って教科書を音読したり、主体的に関連図書を読んだりできるように、子ども自身が「考えてみたい」と思うような問いを投げかけ、教室に本や資料となる物を置いておきました。また、体験できる活動をできるだけ多く取り入れ、言葉だけでなく、実感を伴った理解ができるようにしました。

実際に見たり体験したりすることは、言葉の意味を理解し語彙を豊かにすることができます。分からない言葉は辞書で引くことも大切ですが、生活や体験につながるとより深く理解できますね。

②自分の考えを表現する

文章を表にまとめたり、段落の構成を考えたりしながら、自分の考えをまとめていきました。考えたことをペアやグループで話し合い、それぞれの考えを伝え合うことで、自分では考えなかった意見を聞くことができたり、自分の考えに自信をもつことができたりします。



大切なキーワードとなる言葉や文を文章中から見つけ、表にまとめることで思考の整理ができます。くり返し出てくる言葉や同じ意味の言葉を探しながら文書を読んでいくことがポイントです。また、友達と意見の交流をすることは、自分の考えを深めるためにも大切なことですね。